



## 2019年 4月の園だより



すいこう認定こども園



新しいお部屋、新しいお友だちや先生との出会いに子どもたちはわくわくしています。

保護者の皆さま、新しく入園された方にとっては不安もあるかと思いますが、お子さまが安心して園生活を楽しく過ごせるよう配慮してまいります。困ったことなどありましたら、お気軽に声をかけてください。

お子さん一人ひとりのその瞬間の成長を保護者の皆さんと一緒に喜びあい、支えていければと思っています。

### 出入り口は施錠をお願いします

送り迎えの際には、必ず保護者の方が鍵の開閉をし、施錠してください。園の周りは交通量が多く、とても危険です。出入りの際も声をかけあってご確認ください。みんなで子どもたちを守っていきましょう。

駐車場も台数に限りがあり、集中する時間帯もあります。できるだけ短時間でのご利用をお願いします。



### お花見

もともとは、作物の神様を迎えるために山や野に出かける宗教的な行事だったようです。いつのころからか、桜の花を見て楽しむという行事になりました。奈良、平安時代には、花を見て楽しんでいた様子が、和歌にも詠まれています。桜の寿命は、短いもの、美しい物を愛でる心は、とても大切です。

美しいと感じる心を子どもの中にも育ていきたいものです。この季節の美しさ、自然の美しさに、しっかりと触れていきたいですね。

### すいこうの保育

3月は、一日のうちでも気温の上下が厳しく、桜だよりはいつになるのかと思っておりましたが、可愛い芽を少しずつ膨らませており、例年よりも5日も早い開花となりました。今年も子どもたちと一緒に桜を見ることができると思うとわくわくした気持ちになります。桜満開の4月。ご入園、ご進級おめでとうございます。これから始まる新しい生活が、楽しいものとなりますよう、取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

新学期が始まり、進級を楽しみにしていた子どもたちですが、「おはよう」と新しい担任に抱きついてくるお子さんばかりではなく、戸惑いや涙を見せるお子さんもいます。そんな様子を見ると、泣きたい気持ちでお仕事に向かわれる保護者の方もいらっしゃるのではないかと思います。新入園児さんは、なおさらのことでしょう。今、泣いている子どもたちが日ごとに表情を変え、あそびに夢中になる姿を想像しながら、今年度も楽しい保育を展開していきます。そうすることが子どもたちの成長はもちろん、保護者の皆さんの安心につながっていくものと思っています。3月末日でお子さんの卒園を迎えられた保護者の方々が、最終日に園庭で保護者や保育者もまじえて、思い出話に花を咲かせておられました。2時間以上もいろいろ話された方もおられ、「保護者にとっても楽しい園生活だったんだ。」と改めて感じさせられました。

さて、年度の初めですので、すいこうが大切にしている保育についてお話させていただきます。今年度もグループ園では、『0歳からの幼児教育～選択と集中、そして～』という

テーマで保育を展開してまいります。幼児教育の基本は、赤ちゃんのころにあると考えています。特に生後6か月ごろの赤ちゃんは、特定の大人との信頼関係による情緒の安定を基盤に、探索活動が活発になっていきます。赤ちゃんたちは、ハイハイをしたり、よちよち歩くようになったりした時、あちらこちらと探索活動を始めます。この探索活動は、赤ちゃんなりの「なんだろう?」、「近くに行ってみよう」、「触ってみたい」というやる気です。赤ちゃんのこのやる気を引き起こすのは、特定の大人との信頼関係なのです。特定の大人とは、おうちでは保護者の方々、こども園では、赤ちゃん組の担任保育者のことです。園での赤ちゃんたちは、狭いところに入ってみたり、ボールなど目につくものところへ一生懸命近寄っていきます。そして目的を達成すると、保育者の方を見てにこっと最高の笑顔を見せてくれます。そしてその笑顔に保育者は、笑顔で応える、これが信頼関係なのです。また、絵本を読んでもらっているとき、大好きな場面やちょっぴりドキドキする場面になると、大好きな保育者を見て、目が合うと安心してまた絵本に集中しています。何でもないことのように、こういった信頼関係が築かれているから、子どもたちの中に、何にでも挑戦してみようという気持ちが生まれてくるのです。先日、赤ちゃん組でお手伝いをしていた時、段ボールトンネルから顔を出して「ばあ」と言いながら遊んでいる赤ちゃんがいました。側にいた保育者が「Sくん、ばあが上手にできたね」と笑顔で声をかけると、その様子を見ていたKくん。その保育者

の側に行くと、「僕も上手だよ。」と言わんばかりに「ばあ」と保育者の顔を覗き込んでいました。保育者から「Kくんも上手だね。」と、褒めてもらうととっても嬉しそうでした。こあら組の赤ちゃんたちは、大好きな保育者との間に信頼関係ができており、心が安定しています。心が安定している赤ちゃんたちは、周りの大人を頼ったり、甘えたりもしながら、しっかり遊んでいます。この経験が幼児期の何かをやってみようという気持ちにつながっていくのです。年長組になったから何でもできる、小学生になったから何でも分かるのではなく、赤ちゃんの時に身近な大人との信頼関係ができていて、心が安定しているということが学童期を含め、今後の育ちに大きく影響していくのです。赤ちゃんの時期を過ぎてしまっているお子さんもいますが、大丈夫です。大切なことは、側にいる見守る大人のまなざしです。今、何に驚き、何を喜び、何を感じたのかなど、子どもの心を感じようとする大人の感性だと思います。そして「自分の事をわかってくれる大人がいる」という安心感が、「自分は愛されている。大切な存在なんだ。」という自己肯定感を育み、また、非認知能力と言った目には見えない力を向上させていけるのではないかと思います。

今年度もすいこうの子どもたちは、力いっぱい遊びます。あそびの中には、たくさんの驚き、発見、工夫があり、まわりの大人は、そこに心を馳せる、そういう毎日を繰り返すことで、明日を楽しみにし、明日に期待を持つ子どもに育てて欲しいと願っています。

園長 上原玲子